



エコアクション21 環境経営レポート

2023年度

活動期間：2023年4月～2024年3月

日鉄鋼管ファインチューブ株式会社

発行日 2024年6月27日
改訂日 2025年2月17日

目次

1. 環境経営方針	2頁
2. 事業活動内容	3頁
(1) 事業所名及び代表者名	
(2) 所在地	
(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先	
(4) 事業内容	
(5) 事業規模	
(6) 活動の範囲	
(7) 実施体制図	
3. 環境経営目標及び環境経営計画	5頁
(1) 環境経営活動目標（2022～2024年度（3ヵ年計画））	
(2) 環境経営計画（2023年度）	
4. 環境経営取り組みと評価	7頁
(1) 今年度（2023年度）環境経営取り組み 実績と評価	
(2) 来年度（2024年度）環境経営取り組み 計画	
5. 環境経営実施結果の過年度との比較	10頁
6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	11頁
7. 管理責任者及び代表者による評価とレビュー	12頁

環境経営方針

●基本理念

環境保全を当社の経営の重要課題と位置づけ、全社一丸となって積極的に環境経営活動に取り組み、当社の持続的発展と社会全体の環境保全に貢献します。

環境経営活動を継続的に改善し、社会に貢献する製品の提供、時代の変化を先取りする技術の開発に努めます。

●行動指針

1. 生産性の向上、並びに歩留、品質の向上により、エネルギー・材料使用効率を高め環境負荷低減に努めます。
2. 異形管・多重管など当社独自の特殊鋼管をお客様に提供することで、自動車の軽量化・燃費改善に寄与します。
3. 以下について、具体的な環境経営目標を定め、実施計画を立て、継続的改善に努めます。
 - ①CO2排出量の削減
 - ②廃棄物排出量の削減
 - ③水使用量の削減
 - ④化学物質使用量の管理
 - ⑤環境配慮への取り組み
4. 環境関連法規制を遵守します。
5. この環境経営方針を全従業員に周知します。

日鉄鋼管ファインチューブ株式会社
代表取締役社長
三浦 孝雄

制改訂版数：9
制定日：2010年1月4日
改訂日：2023年7月1日

2. 事業活動内容

(1) 事業所名及び代表者名

日鉄鋼管ファインチューブ株式会社
代表取締役社長 三浦 孝雄

(2) 所在地

本社・工場：徳島県板野郡松茂町豊久字豊久開拓139-17
東京支店：東京都千代田区有楽町1丁目1番3号 東京宝塚ビル 12階
名古屋支店：愛知県名古屋市中村区名駅南2丁目13番18号 NSビル
大阪支店：大阪府大阪市中央区今橋4丁目3番18号 HK今橋ビル 10階

(3) 環境管理責任者名及び担当者連絡先

環境管理責任者
常務取締役工場長 横山 哲夫
担当者
TEL:088-699-5211
FAX:088-699-5088
yokoyama@nsp-finetube.jp

(4) 事業内容

引き抜き鋼管の製造

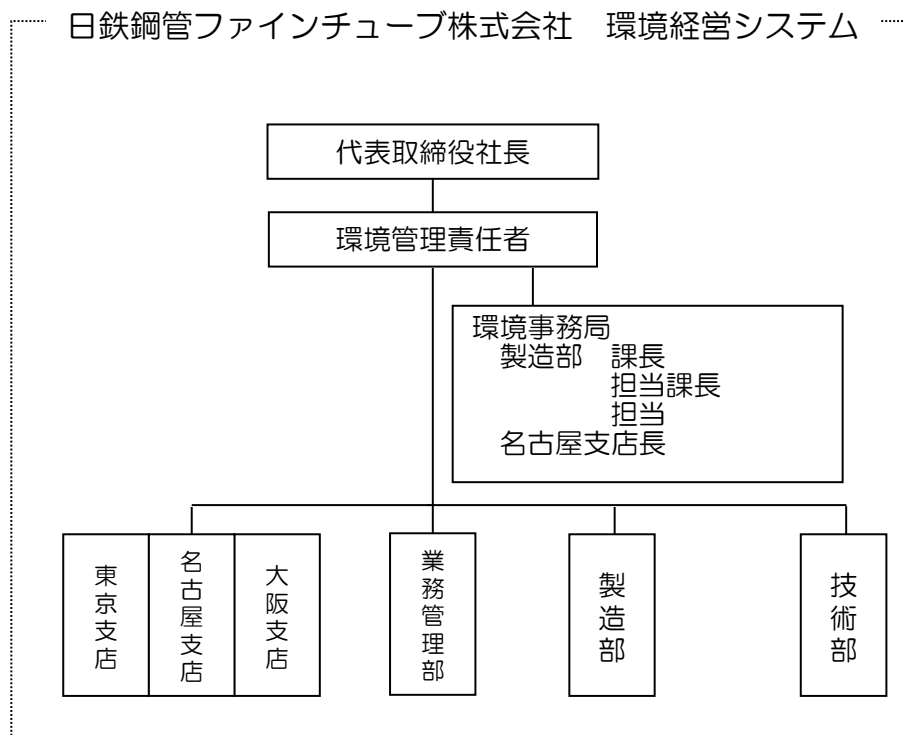
(5) 事業規模(2023年度)

製品生産量	13,342 t
売上高	4,827 百万円
従業員	115 名
床面積	11,135 m ²

(6) 活動の範囲

全組織、全活動を対象にしている。

(7) 実施体制図



	役割・責任・権限
社長	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任、および環境管理責任者を任命。 経営における課題とチャンスを整理し明確にする。 環境経営システムの実施及び管理に必要な資源（人、設備、費用、時間）を用意する。 「環境経営方針」の策定・見直し及び全従業員へ周知。 「環境経営計画の実施状況と評価」を承認。 代表者として環境経営システム全体の評価と見直しを実施する。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムを構築し、実施し、管理する。 「法規及びその他の要求事項の取りまとめと遵守チェック表」を承認。 「環境経営目標及び環境経営計画」を承認。 「環境経営計画の実施状況と評価」のQ毎の評価、是正指示。 環境経営活動の取組結果を「環境経営レポート」にまとめ代表者へ報告。
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者、EA21推進の事務局 「環境への負荷、及び取組の自己チェック」の実施。 「法規及びその他の要求事項の取りまとめと遵守チェック表」による確認。 「環境経営目標及び環境経営計画」「環境経営計画の実施状況と評価」の作成、及び実績集計と是正処置（問題点処置票）の実施。 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
部門長（支店長）	<p>自部門における</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの実施。 従業員への「環境経営方針」の周知、環境教育訓練の実施。 「環境経営計画の実施状況と評価」の実績集計と報告。 特定された環境活動項目の基準書、手順書作成及び運用管理。 特定された緊急事態への対応のための基準書、手順書作成、テスト・訓練・記録。 問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針を理解と環境への取組の重要性を自覚。 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

3. 環境経営目標及び環境経営計画

(1) 環境経営目標（2022～2024年度（3カ年計画））

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
		基準年度 実績	基準年度▲1% 目標	基準年度▲2% 目標	基準年度▲3% 目標
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /生産量ト	445.2	440.7	436.3	431.8
電力使用量(*1)	kWh/生産量ト	239.2	236.8	234.4	232.0
A重油使用量	ℓ/酸洗量ト	21.3	21.1	20.9	20.7
灯油使用量	ℓ/直火炉処理量ト	37.5	37.1	36.8	36.4
LPG使用量	kg/光輝炉処理量ト	33.5	33.2	32.8	32.5
廃棄物排出量	kg/生産量ト	86.02	85.16	84.30	83.44
水使用量(*2)	m ³ /酸洗量ト	2.48	2.46	2.43	2.41
化学物質使用量	kg/生産量ト	4.39	4.35	4.30	4.26
環境配慮	エコにつながる製品の 実現(引き合い検討)	件	3	3	3
	環境汚染軽減 (積載率の向上)(*3)	%	90%	90%	90%

*1 購入電力のCO₂排出係数：0.550kg-CO₂/kWh

(2022年度調整後排出係数、係数の使用期間は2022～2024年度)

*2 水使用量の実績指標をm³/生産量(ト)からm³/酸洗量(ト)に変更。基準年2021年度も変更後の実績。
(2021年度：生産量=13,842ト、酸洗量=29,077ト)

*3 積載率=積載製品質量/トラックの最大積載質量(%)

(2) 環境経営計画（2023年度）

	2023年度方針	目標	目標達成手段	
本社・工場	I. 二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	スリットクーラー・ヒーターの空運転防止	
			熱回収型コックレッサーの優先使用	
		重油使用量の削減	圧縮空気の漏れ箇所の修理	
			圧縮空気の圧カダウン	
			蒸気ドレントラップの整備	
	灯油使用量の削減	蒸気配管の保温劣化部の整備		
		蒸気漏れ部の修理		
	LPG使用量の削減	直火炉廃熱利用による洗浄補給水加熱		
		直火炉処理量向上（出側シャワー装置活用）		
	II. 廃棄物排出量の削減	廃油排出量の削減	光輝炉の空炉時間の短縮	
新No.2口付機活用				
III. 水使用量の削減	工業用水使用量削減	再生利用油との区分を徹底		
		紙段ボールのリサイクル化(古紙・廃段ボールの有価売却)		
IV. 化学物質使用量の管理	バルボンドの使用量管理	水洗槽の使用・PH設定値の見直し		
		洗浄工程の効率化（自動洗浄ラインの活用）		
V. 環境配慮	エコにつながる製品の 実現	節水の呼び掛け		
		軽量化・高機能化製品引き合い検討		
東京支店, 名古屋支店, 大阪支店	I. 二酸化炭素排出量の削減	環境汚染軽減	積載率の向上	
			II. 廃棄物排出量の削減	昼休み等の不必要時、照明の消灯
				適正な室温管理
	IV. 環境配慮	エコにつながる製品の 実現	PC電源管理（スリープモードの活用）	
			印刷物の軽減	
	III. 水使用量の削減	工業用水使用量削減	裏紙使用による紙屑発生低減	
			可燃物、ペットボトル、スチール缶の分別廃棄	
	V. 環境配慮	軽量化・高機能化製品 の提案	軽量化・高機能化製品の提案	
			軽量化・高機能化製品引き合い獲得	

4. 環境経営取り組みと評価

(1) 今年度（2023年度） 環境経営取り組み 実績と評価

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度			2024年度	
		基準年度	基準年度▲1%	基準年度▲2%			基準年度▲3%	
		実績	目標	目標	実績	達成率 (目標/実績)	目標	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /生産量ト	445.2	440.7	436.3	392.4	111%	○	431.8
電力使用量(*1)	kWh/生産量ト	239.2	236.8	234.4	202.2	116%	○	232.0
A重油使用量	ℓ/酸洗量ト	21.3	21.1	20.9	20.0	104%	○	20.7
灯油使用量	ℓ/直火炉処理量ト	37.5	37.1	36.8	36.3	101%	○	36.4
LPG使用量	kg/光輝炉処理量ト	33.5	33.2	32.8	34.6	95%	△	32.5
廃棄物排出量	kg/生産量ト	86.02	85.16	84.30	86.32	98%	△	83.44
水使用量(*2)	m ³ /酸洗量ト	2.48	2.46	2.43	2.52	97%	△	2.41
化学物質使用量	kg/生産量ト	4.39	4.35	4.30	3.78	114%	○	4.26
環境配慮	エコにつながる製品の実現(引き合い検討)	件	3	3	8	267%	○	3
	環境汚染軽減(積載率の向上)(*3)	%	90%	90%	90%	93%	104%	○

*1 購入電力のCO2排出係数：0.550kg-CO₂/kWh

(2022年度調整後排出係数、係数の使用期間は2022～2024年度)

*2 水使用量の実績指標をm³/生産量(ト)からm³/酸洗量(ト)に変更。基準年2021年度も変更後の実績。
(2021年度：生産量=13,842ト、酸洗量=29,077ト)

*3 積載率=積載製品質量/トラックの最大積載質量(%)

(2023年度実績算出データ)

2023年度排出量		生産量等(ト)	
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	5,236,006	生産量	13,342
電力使用量(kWh)	2,697,750	生産量	13,342
A重油使用量(ℓ)	503,870	酸洗量	25,159
灯油使用量(ℓ)	423,496	直火炉処理量	11,673
LPG使用量(kg)	410,620	光輝炉処理量	11,862
廃棄物排出量(kg)	1,151,630	生産量	13,342
工業用水使用量(m ³)	63,330	酸洗量	25,159
化学物質使用量(kg)	50,492	生産量	13,342

4. 環境経営取り組みと評価

(1) 今年度(2023年度) 環境経営取り組み 実績と評価(続き)

◎達成、○未達、目標との差が10%以内、△未達、目標との差が20%以内

方針	環境経営目標	目標達成手段	責任者	計画・実績と評価					
				第一四半期 (4~6月)	第二四半期 (7~9月)	第三四半期 (10~12月)	第四四半期 (1~3月)	年間	
			生産量(トン)	3,236	3,138	3,615	3,353	13,342	
			平均抽伸回数	—	—	—	—	1.49	
二酸化炭素排出量削減	電力使用量の削減	スポットクーラー・ヒーターの空運転防止	製造課長	◎	◎	◎	◎	◎	
		熱回収型コンプレッサーの優先使用	工務課長	◎	◎	◎	◎	◎	
		洗浄棟照明LED化	製造・工務課長	—	—	—	—	—	
		圧縮空気の漏れ箇所の修理	製造・工務課長	◎	◎	◎	◎	◎	
		No.1.3コンプレッサー統合	製造・工務課長	◎	—	—	—	◎	
		昼休み等の不必要時、照明の消灯	事務所・支店長	◎	◎	◎	◎	◎	
		適正な室温管理	事務所・支店長	◎	◎	◎	◎	◎	
		PC電源管理(スリープモードの活用)	事務所・支店長	◎	◎	◎	◎	◎	
		目標(kWh/生産量トン)	234.4	実績	196.7	218.9	192.5	202.4	202.2
			評価	◎	◎	◎	◎	◎	
	重油使用量の削減	蒸気ドレントラップの整備	製造・工務課長	—	—	—	—	—	
		蒸気配管の保温劣化部の整備	製造・工務課長	—	—	—	—	—	
		蒸気漏れ部の修理	工務課長	◎	◎	◎	◎	◎	
		直火炉廃熱利用による洗浄補給水加熱	製造課長	◎	◎	◎	◎	◎	
		直火炉出側エア配管補修	工務課長	◎	—	—	—	◎	
		目標(L/酸洗処理量トン)	20.9	実績	19.5	17.2	19.6	23.9	20.0
			評価	◎	◎	◎	△	◎	
	灯油使用量の削減	直火炉処理量向上(出側シャワー装置活用)	製造課長	◎	◎	◎	◎	◎	
目標(L/直火炉熱処理量トン)		36.8	実績	37.9	34.2	35.4	37.8	36.3	
			評価	○	◎	◎	○	◎	
LPG使用量の削減	光輝炉の空炉時間の短縮	製造・工務課長	◎	◎	◎	◎	◎		
	目標(kg/光輝炉熱処理量トン)	32.8	実績	34.6	33.7	34.1	36.1	34.6	
			評価	○	○	○	○	○	
4半期ごと実績(kg-CO2)				1,265,156	1,233,647	1,346,506	1,390,697	5,236,006	
	目標(kg-CO2/生産量トン)	436.3	実績	391.0	393.1	372.5	414.8	392.4	
			評価	◎	◎	◎	◎	◎	
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の発生抑制	紙段ボールのリサイクル化(古紙・廃段ボールの有価売却)	業務管理課長	◎	◎	◎	◎	◎	
	産業廃棄物の発生抑制	廃油排出量の削減(再生使用油との区分徹底)	製造課長	◎	◎	◎	◎	◎	
		防錆油建浴回数削減	製造課長	◎	—	—	—	◎	
	目標(kg/生産量トン)	84.30	実績	91.69	98.49	74.81	82.1	86.32	
		評価	○	○	◎	◎	○		
水使用量の削減	工業用水の使用量削減	水洗槽の使用方法・PH設定値の見直し	製造課長	—	—	—	—	—	
		節水の呼び掛け	製造・工務・業務課長	◎	◎	◎	◎	◎	
	4半期ごと工業用水投入量(m3)		実績	14,990	16,250	16,330	15,760	63,330	
	目標(m3/酸洗処理量トン)	2.43	実績	2.45	2.56	2.49	2.57	2.52	
			評価	○	○	○	○	○	
化学物質	化学物質使用量の管理	パルボンド使用量の管理	製造課長	◎	◎	◎	◎	◎	
		洗浄工程の効率化(自動洗浄ラインの活用)	製造課長	◎	◎	◎	◎	◎	
	目標(kg/生産量トン)	4.30	実績	3.83	3.85	3.64	3.84	3.78	
			評価	◎	◎	◎	◎	◎	
環境配慮	エコに繋がる製品の実現(*1)	軽量化・高機能化製品引き合い検討	製造・技術課長・支店長	◎	◎	◎	◎	◎	
		目標(年度累計)	3件	実績	3	1	1	3	8
				評価	◎	◎	◎	◎	◎
	環境汚染軽減	積載率の向上(*2)	生管課長	—	—	—	—	—	
		目標(%)	90%	実績	93.2%	93.8%	93.5%	92.8%	93.3%
			評価	◎	◎	◎	◎	◎	

*1: 自動車の軽量化・高機能化に寄与する素材の提供によるCO2排出量削減

*2 積載率=積載製品質量/トラックの最大積載質量(%)

【目標値に対する実績の評価と是正】

- (評価) 二酸化炭素排出量、化学物質、環境配慮の項目は目標達成。特に電力、化学物質は年間を通じて達成。
(指示) 電力は、圧縮空気の漏れ点検用超音波カメラを活用し漏れ箇所の点検・修理を継続する。
- (評価) LPG使用量、廃棄物排出量、工業用水使用量は目標未達で目標との差が10%以内であった。特にLPG、工業用水は年間を通じて未達。
(指示) LPGは光輝炉の稼働率の低下が主原因と考える。昼休み操業の活用等で空炉時間の短縮を図る。
工業用水は品質優先した洗浄棟の建替え回数の増加が原因と考える。酸・アルカリの劣化評価のレベルアップ、安価な剤の原単位向上、液面低下を進める。

(2) 来年度（2024年度） 環境経営取り組み 計画

表2 環境経営計画（2024年度）

	2024年度方針	目標	目標達成手段
本社・工場	I. 二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	ホットクレーン・ヒーターの空運転防止
			熱回収型コンプレッサの優先使用
			圧縮空気の漏れ箇所の修理（エア漏れ点検用超音波カメラの活用）
			圧縮空気の圧力ダウン
		重油使用量の削減	蒸気ドレントラップの整備
			蒸気配管の保温劣化部の整備
			蒸気漏れ部の修理
			直火炉廃熱利用による洗浄補給水加熱
	灯油使用量の削減	直火炉処理量向上（出側シャワー装置活用）	
	LPG使用量の削減	光輝炉の空炉時間の短縮 新No.2口付機活用	
	II. 廃棄物排出量の削減	廃油排出量の削減	再生利用油との区分を徹底
		燃え殻排出量の削減	紙段ボールのリサイクル化（古紙・廃段ボールの有価売却）
III. 水使用量の削減	工業用水使用量削減	水洗槽の使用方法・PH設定値の見直し	
		節水の呼び掛け	
IV. 化学物質使用量の管理	パルボンドの使用量管理	パルボンドの薬剤変更による使用量低減	
		洗浄工程の効率化（自動洗浄ラインの活用）	
V. 環境配慮	エコにつながる製品の実現	軽量化・高機能化製品引き合い検討	
	環境汚染軽減	積載率（*1）の向上	
東京支店 名古屋支店 大阪支店	I. 二酸化炭素排出量の削減		昼休み等の不必要時、照明の消灯
			適正な室温管理
			PC電源管理（スリープモードの活用）
	II. 廃棄物排出量の削減		印刷物の軽減
			裏紙使用による紙屑発生の低減
			可燃物、ペットボトル、スチール缶の分別廃棄
IV. 環境配慮	エコにつながる製品の実現	軽量化・高機能化製品の提案	
		軽量化・高機能化製品引き合い獲得	

(2) 来年度（2024年度） 環境経営取り組み 計画（続き）

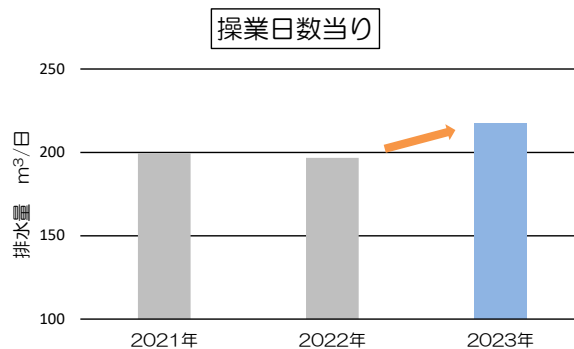
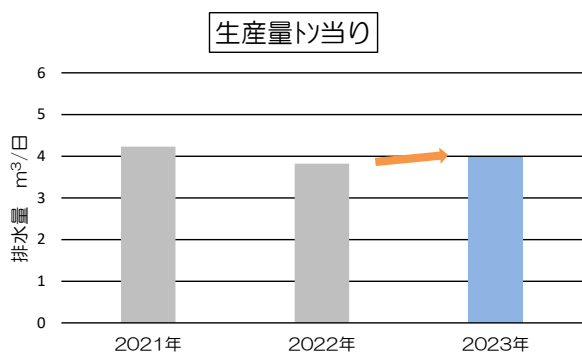
方針	環境経営目標	目標達成手段	責任者	実施時期	
二酸化炭素排出量削減	電力使用量の削減	スポットクーラー・ヒーターの空運転防止	製造課長	通年	
		熱回収型コンプレッサーの優先使用	工務課長	通年	
		圧縮空気の漏れ箇所の修理	製造・工務課長	通年	
		昼休み等の不必要時、照明の消灯	事務所・支店長	通年	
		適正な室温管理	事務所・支店長	通年	
		PC電源管理(スリープモードの活用)	事務所・支店長	通年	
		目標(kWh/生産量トン)	232.0	実績	
			評価		
	重油使用量の削減	蒸気ドレントラップの整備	製造・工務課長	都度	
		蒸気配管の保温劣化部の整備	製造・工務課長	都度	
		蒸気漏れ部の修理	工務課長	通年	
		直火炉廃熱利用による洗浄補給水加熱	製造課長	通年	
		目標(L/酸洗処理量トン)	20.7	実績	
			評価		
	灯油使用量の削減	直火炉処理量向上(出側シャワー装置活用)	製造課長	通年	
		目標(L/直火炉熱処理量トン)	36.4	実績	
				評価	
	LPG使用量の削減	光輝炉の空炉時間の短縮	製造・工務課長	通年	
		目標(kg/光輝炉熱処理量トン)	32.5	実績	
				評価	
4半期ごと実績(kg-CO2)					
	目標(kg-CO2/t)	431.8	実績		
			評価		
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の発生抑制	紙段ホールのリサイクル化(古紙・廃段ホールの有価売却)	業務管理課長	通年	
		月別実績(kg/生産量トン)			
	産業廃棄物の発生抑制	廃油排出量の削減(再生使用油との区分徹底)	製造課長	通年	
		防錆油建浴回数削減	製造課長	3Q	
目標(kg/生産量トン)	83.44	実績			
		評価			
水使用量の削減	工業用水の使用量削減	水洗槽の使用方法・PH設定値の見直し	製造課長	都度	
		節水の呼び掛け	製造・工務・業務課長	通年	
		工業用水投入量(m3)			
		目標(m3/酸洗処理量トン)	2.41	実績	
		評価			
化学物質削減	化学物質使用量の管理	パルボンド使用量の管理	製造課長	通年	
		洗浄工程の効率化(自動洗浄ラインの活用)	製造課長	通年	
		目標(kg/生産量トン)	4.26	実績	
		評価			
環境配慮	エコに繋がる製品の実現(自動車の軽量化・高機能化に寄与する素材の提供によるCO2排出量削減)	軽量化・高機能化製品引き合い検討	製造・技術課長・支店長	通年	
		目標(年度累計)	3件	実績	
			評価		
	環境汚染軽減	積載率(*1)の向上	生管課長	通年	
目標(%)		90%	実績		
		評価			

*1 積載率=積載製品質量/トラックの最大積載質量(%)

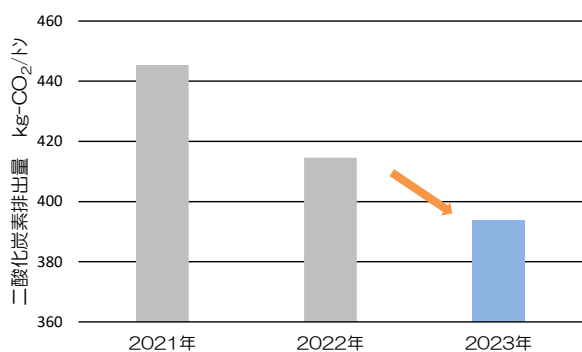
5.環境経営実施結果の過年度との比較

(生産変動を考慮した、生産量(ト)当たりの排水量、二酸化炭素、廃棄物の排出量の推移)

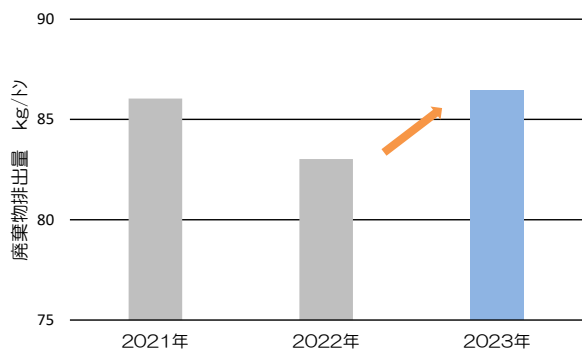
(1)排水量推移(生産量ト当り、及び操業日数当り)



(2)二酸化炭素排出量推移(生産量ト当り)



(3)廃棄物排出量推移(生産量ト当り)



【評価と是正】

(評価) 二酸化炭素排出量は2021年から連続して改善。その他は2021年のレベルまで悪化。

(指示) 二酸化炭素は、電力と重油の使用量削減で改善。生産量当りの排水量、廃棄物は生産量の減少により悪化。生産量の減少に応じた設備の稼働・停機による改善を進める。

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

主な法規及びその他の要求事項

法規等の名称	該当事項	該当設備、物品等	要求事項
廃棄物処理法	一般廃棄物	紙くず、木くず、廃ウエス等	業者との契約・許可書確認
	産業廃棄物	廃プラ、金属くず、汚泥等 廃アルカリ	掲示板表示・責任者の明示、業者との契約・許可書確認、マニフェスト交付・確認
	特別管理産業廃棄物	廃硫酸	同上、処理計画提出・実施状況報告（多量排出事業者）
瀬戸内法 水質汚濁防止法	有害物質使用特定施設： ほつ素、心っ素、亜硝酸化合物等の有害物質を製造、使用、処理する特定施設	硫酸槽、水洗槽、中和槽、ポンプレイト槽、ポンダリューバ槽	施設の設置・変更許可申請、代表者の変更届出、総量規制基準の値遵守、排水の汚染状態・負荷量の測定・記録
	特定施設：酸又はアルカリによる表面処理施設	脱脂槽、湯洗槽、一時防錆槽	
大気汚染防止法	設備	ボイラ、大気炉	ばい煙発生施設の設置の届出、代表者の変更届出、測定・記録・保存
騒音規制法 徳島県生活環境保全条例 （騒音に関する規制）	設備	口付け機、抽伸機、矯正機、空気圧縮機、送風機	特定施設の設置の届出、代表者の変更届出、規制基準の遵守
振動規制法	設備	口付機、空気圧縮機	特定施設の設置・変更・廃止の届出、代表者の変更届出、規制基準の遵守
省エネルギー法 地球温暖化対策推進法 徳島県気候変動対策推進条例	第二種I種工場 管理指定工場 電気使用設備 燃料使用設備	工場、各支店・事務所 熱処理炉 3基、口付炉 1基、蒸風 気ボイラ 2基、乾燥槽 2基、風呂ボイラ 1基	I種工場管理統括者・管理企画推進者・管理者の選任（解任）届出 定期報告（7月）、中期計画の提出、電気需要平準化指針に基づく取り組みの実施 温室効果ガス算定の定期報告（6月）
PRTR法	第一種指定化学物質 亜鉛の水溶性化合物 キシレン メチルナフタレン トリメチルベンゼン	ポンプレイト（表面処理） 灯油（直火炉） 重油（蒸気ボイラ） 灯油（直火炉）	第一種指定化学物質の排出量・移動量の把握・算出、新規化学物質購入時のSDSの受理 指定化学物質の取扱量の把握・報告
毒物及び劇物取締法	場所	硫酸槽、硫酸受入タリ	紛失・漏えい等防止の措置、容器・被包・貯蔵場所等への表示、事故時の届出
浄化槽法	設備	単独浄化槽（北トイレ）	設置等の届出、保守・清掃、法定検査、代表者の変更届出
消防法	設備	工場建屋内、油倉庫、燃料タンク	防火管理責任者選任届出、消防計画作成、設備等点検結果報告書、危険物貯蔵所・取扱書の設置許可申請、品名・数量又は指定数量の倍数変更の届出、危険物保安監督者選任届出
高圧ガス保安法	設備	LPG製造設備	施設等設置・変更の許可申請、保安統括者等届出、保安検査の申請、定期自主検査・記録
フロン排出抑制法	設備	業務用エアコン、業務用冷凍冷蔵機	第一種特定製品の管理者の判断基準に基づく措置（簡易定期点検、定期点検、交付される充填（回収）証明書の管理）
労働安全衛生法	危険有害性のある化学物質	工場建屋内	化学物質リスクアセスメント実施、結果、措置
松茂町公害防止協定	水質・騒音・振動規制基準	酸洗浄設備、工場内設備	—

■遵守状況

- 2024年4月に環境関連法規への遵守状況を評価し、逸脱はありませんでした。
- 省エネ法の届出・報告は法規通り完了。
- 訴訟及び関係当局からの違反等の指摘は過去3年間ありません。

7. 代表者による全体の評価と見直し・指示

評価実施日：2024年6月27日
 代表取締役社長
 三浦孝雄

7-1. 確認・評価した項目（見直しに必要な情報）

項 目	確認
1. 環境経営方針	○
2. 実施体制	○
3. 環境経営目標	○
4. 環境経営活動計画	○
5. 環境経営計画の実施状況と評価	○
6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	○
7. 環境コミュニケーションの記録	○
8. その他（ ）	

7-2. 見直しの必要性

項 目	見直しの必要性
1. 環境経営方針	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
2. 実施体制	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
3. 環境経営目標	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
4. 環境経営計画	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
5. その他（ ）	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

7-3. 代表者による全体の評価、及び具体的な指示内容

項目	全体の評価	指示内容
環境経営活動計画	年間で二酸化炭素、化学物質、環境配慮の項目は目標達成。廃棄物排出量と水使用量は目標未達。	良かった要因を分析し、今後も継続して取り組みを実施していくこと。
	工業用水は昨年度目標を見直し目標達成したが再度未達。	見直した目標に対する改善取り組みを計画的に進めること。

- * 1. 確認・評価は毎年6月に実施する。
- * 2. 環境管理責任者は、代表者の指示内容について直ちに実行に移しその結果を代表者に報告する。